

BS1スペシャル

“脱プラスチック”への挑戦

持続可能な地球をめざして 第2部

放送日：2019年4月14日 放送時間：110分



対象校種 小学校4年生以上 中学校 高校

対象教科 総合 経済 情報

この番組の良さ



● 脱プラスチックは喫緊の課題

私たちの生活の中で、プラスチック製品は身近なものです。しかし、現在、海の中を漂うビニール袋やペットボトル、海岸に集まるプラスチックごみが増え、海洋汚染の原因になっています。このまま海洋汚染が進むと、生き物が住みにくい環境となり、生態系に悪影響を及ぼす危険があります。番組では、世界で加速している脱プラスチックへの取り組みについて学ぶことができます。また、脱プラスチックによって変容した市民生活や企業の商品開発についても学ぶことができます。

● 循環経済へ転換を目指す

現在、プラスチックごみは、種類によってリサイクルできないものがあります。その場合、ごみを埋めて処理するしかありません。それは、これまでの経済が、生産、消費、廃棄で終わるコスト重視の使い捨て経済だったためです。番組では、生産、消費、再資源化して循環していく経済に注目し、世界のビジネス戦略や最新のテクノロジー技術について学ぶことができます。

番組活用のポイント

● 世界の脱プラスチックへの取り組みを学ぶ

世界では、脱プラスチックの規制が加速しています。グローバルに展開している有名企業も、レジ袋や容器、ストローを紙製へと変える目標を掲げ、取り組みを始めています。番組では、様々な国や企業で加速する脱プラスチックへの取り組みを学ぶことができます。番組視聴を通して、日本の取り組みと比較したり、どのように脱プラスチックを進めていくべきかについて考えたりすることができます。

● SDGsの目標を達成するための資料として

2015年9月、国連サミットで「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」が採択され、国連加盟国は、2030年までに達成するべき17の目標を掲げました。本番組は、SDGsの目標「つくる責任 つかう責任」で活用することができます。持続可能な消費と生産パターンを目指すこの目標は、循環経済への転換が解決の手がかりとなります。番組で、脱プラスチックによって変わる企業の商品開発やサービス、プラスチックごみの完全資源化を目指す最新テクノロジーについて学び、世界の問題解決へ向けて考えることができます。

● ごみを資源に変える 最新テクノロジー開発を学ぶ

世界では、プラスチックごみの完全資源化、リサイクルを目指すため、最新のテクノロジーを活用して開発が進められています。番組では、AIを使ってリサイクル化を目指す取り組みや日本の企業が開発したリサイクル技術を学ぶことができます。特に、日本企業の粘り強い研究によって開発された高いリサイクル技術は、世界で注目されています。



執筆者

江別市立大麻泉小学校

教諭

前多香織